

印西大師 第86番 岩戸・岩不動

1 名称 (No.086)〔手引鏡：岩不動〕〔資料館：岩不動〕〔行程表：岩不動〕

2 場所 印西市岩戸2777 岩不動

吉田・慈眼寺から道程約1770m

GPS座標 35.7656894817481, 140.16606385613292

3 由緒 臨済宗妙心寺派

岩戸村字広台にあり 円応寺末にして臨済宗妙心寺派にして不動明王を本尊とす 創立年月不詳 寛永二十年米津出羽守再興 檀徒30人 (印旛郡誌)

4 御堂 大師堂の中に丸彫りの御大師様が1体あり。

5 境内 階段を登ると正面に不動堂、右手に大師堂があります。以前彼岸花がたくさん咲いていましたが、一部処分されたようです。

6 写真 (2006.03、2023.10撮影)



大師堂



御大師様



平成18年(2006年)3月の大師堂



岩名不動尊と大師堂 (右)



参道の階段



参道の階段

7 情報

(1) 印西大師 第86番 岩不動 御詠歌 (泉倉寺本による)

いざ去らば今宵は此处(ここ)に 志度(しど)の寺祈りの聲(声)を耳に觸(触れ)つつ

四国八十八ヶ所 第86番 真言宗善通寺派 補陀洛(ふだらくざん) 清浄光院 志度寺(しどじ) 写し

(2) 西方御大師堂 (現地説明板より)

江戸時代の中頃、印旛沼の西にあたる印西地区は大飢饉にみまわれた。南陽院(本埜村笠神社)の住職臨唱は、このようなさまを大変悲しんでいた。そんなある日、臨唱は弘法大師の夢のお告げにより、四国八十八ヶ所巡礼の旅に出た。弘法大師の聖地巡礼を成し遂げた臨唱は印西に地に帰り、南陽院の本寺である泉倉寺(印西市小倉)の住職演順に、印西大師札所を新たに創ることを申請し、享保六年(一七二一年)に始まった。

西方御大師堂は、八十六番目の札所として建設され、地区や篤信の者に守られてきたが、風雨にさらされ老朽化したため、西方地区全体の繁栄を祈り地域の財産として、平成十八年三月十二日新築開眼供養を行った。 平成十八年三月 西方地区一同